令和6年度　年間授業計画

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅱ　　単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	MOUSA 2 （教育芸術社）
	補助教材：	教員作成プリント

教科（　芸術　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（　音楽Ⅱ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

令和6年度　年間授業計画　科目（　音楽Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌唱	表現 器楽	表現 創作	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　歌詞の内容をイメージして歌おう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける	発声法、歌詞					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	ハナミズキ等					音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	映像資料の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元　表現を工夫してアンサンブルをしよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想とリコーダー及びギターの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能をを身に付ける	アルトリコーダーの奏法・ギターの奏法、アンサンブル					・曲想とリコーダー及びギターの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方、他社との調和を意識して演奏するなどの技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	日曜日よりの使者					音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元　音楽の仕組みを理解しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・コードの種別による構造の仕組みについて理解する	コードの仕組み					・コードの種別による構造の仕組みについて理解している				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	コードの種別による響きの違いを知覚し、演奏に活かす	教師作成プリント					コードの種別による響きの違いを知覚し、演奏に活かす				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	映像資料の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元　外国歌曲に親しみ、表現を工夫しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける	発声法、詩と旋律の関係					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	Nel cor piu non mi sento、Vaga luna che inargenti					音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				

令和6年度　年間授業計画　科目（　音楽Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌唱	器楽	創作						
2学期	単元　外国歌曲に親しみ、表現を工夫しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける	発声法、詩と旋律の関係					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	Je teveux					音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元　キーボードアンサンブルをしよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能をを身に付ける	キーボードの奏法、アンサンブル					・曲想とキーボードの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能をを身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	ソナチネ等					音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元　キーボードアンサンブルをしよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想とキーボードの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能をを身に付ける	キーボードの奏法、アンサンブル					・曲想とキーボードの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能をを身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	ソナチネ等					音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元　表現を工夫して混声合唱をしよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける	合唱の基礎、声の響き					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫しようとしている	2部合唱、3部合唱					音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組もうとしている	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				

令和6年度　年間授業計画　科目（　音楽Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌唱	器楽	創作						
3 学 期	単元　表現を工夫して混声合唱をしよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける	合唱の基礎、声の響き					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫しようとしている	2部合唱、3部合唱					音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組もうとしている	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元　総合芸術を味わおう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解する	オペラ、ミュージカル					・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解している				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	オペラ座の怪人等					音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	映像資料の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
											合計 70